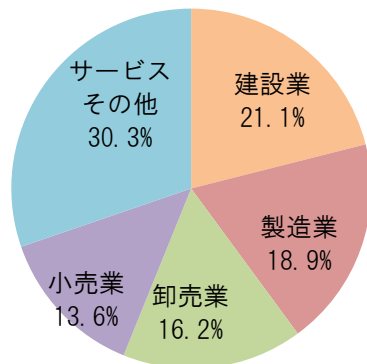


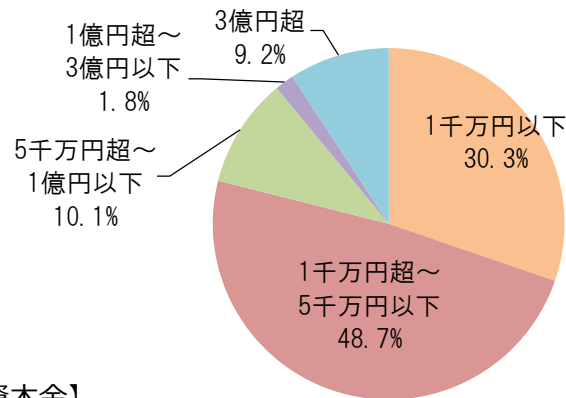


調査概要

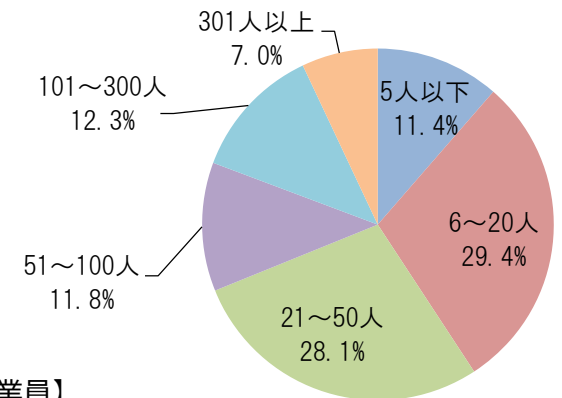
1. 調査期間 2022年7月13日(水)～2022年7月26日(火)
2. 調査対象 札幌商工会議所定期景気調査 登録企業544社
3. 回答状況 228社（回答率41.9%）
4. 調査項目 ①7月の業況と先行き見通し
②付帯調査…海外ビジネスの展開について
③付帯調査…新型コロナウイルスによる経営への影響
5. 回答企業属性



【業 種】



【資本金】



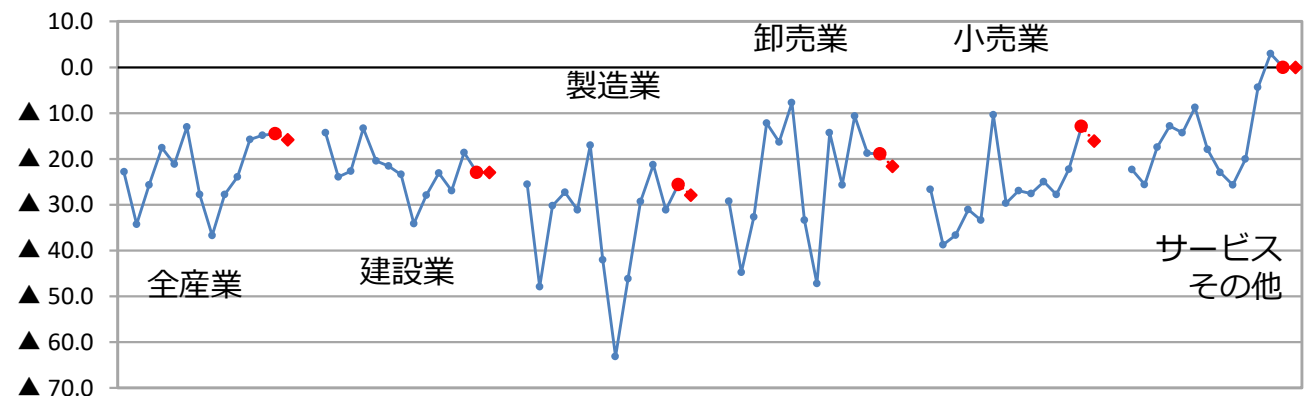
【従業員】

① 7月の業況と先行き見通し

全産業合計の業況DIは▲14.5と、0.3ポイントの増加でほぼ横ばい。先行き見通しDIは▲15.8と悪化の見込み。

	2022年	2022年	
	6月	7月	8月～10月
全産業	▲ 14.8	▲ 14.5	▲ 15.8
建設	▲ 18.6	▲ 22.9	▲ 22.9
製造	▲ 31.1	▲ 25.6	▲ 27.9
卸売	▲ 18.8	▲ 18.9	▲ 21.6
小売	▲ 22.2	▲ 12.9	▲ 16.1
サービスその他	2.9	0.0	0.0

※●2022年7月(今月)DI ◆先行きDI ▽業況DIの推移（2021年7月以降）



※DI値について…ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

※先行き見通しDI＝当月（7月）と比べた、向こう3ヶ月（8月～10月）の先行き見通し

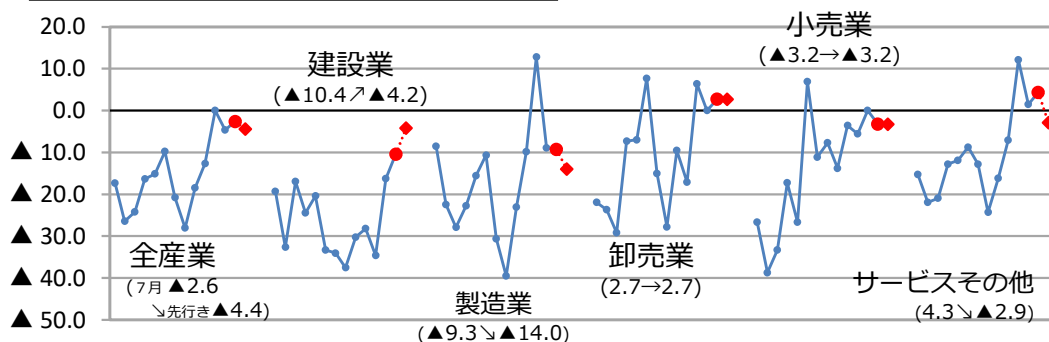
【例】

$$\text{業況DI} = \frac{(\text{好転} - \text{悪化}) \times 100}{(\text{好転} + \text{不変} + \text{悪化})}$$

1) 売上D I と先行き見通し

▽売上D I の推移 (2021年7月以降)

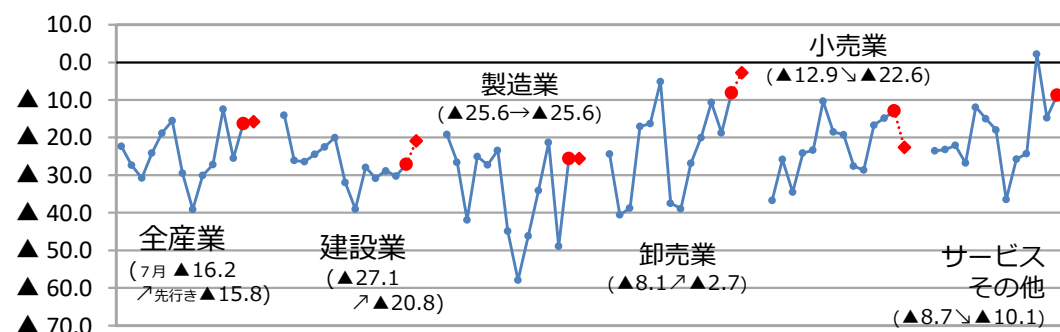
売上D I は▲2.6と前月から2.0ポイント増加。
 先行きD I は▲4.4と悪化の見込み。



2) 採算(経常利益)D I と先行き見通し

▽採算D I の推移 (2021年7月以降)

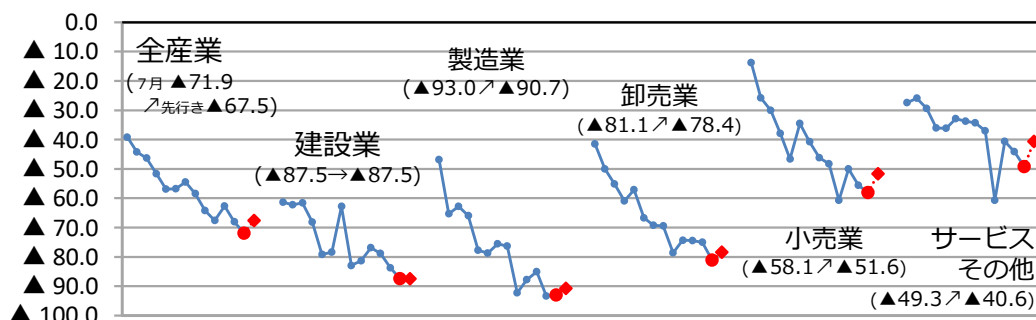
採算D I は▲16.2と前月から9.3ポイントの増加。
 先行きD I は▲15.8とわずかに改善の見込み。



3) 仕入単価D I と先行き見通し

▽仕入単価D I の推移 (2021年7月以降)

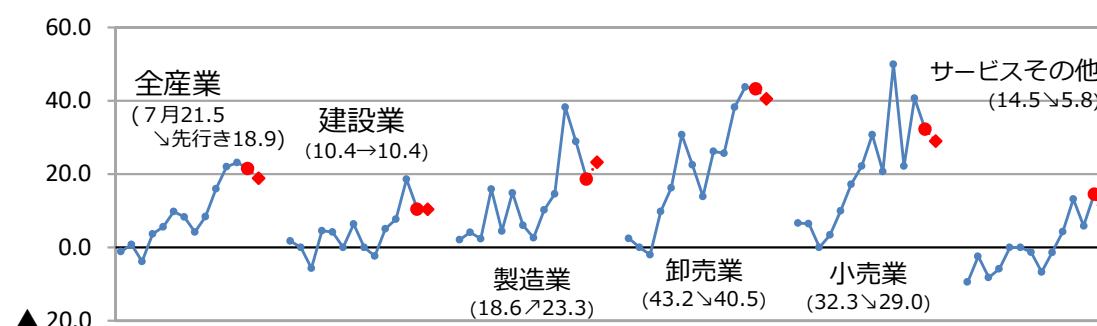
仕入単価D I は▲71.9と前月から3.8ポイント減少。
 先行きD I は▲67.5と価格の上昇を訴える傾向が弱まる見込み。



4) 販売単価D I と先行き見通し

▽販売単価D I の推移 (2021年7月以降)

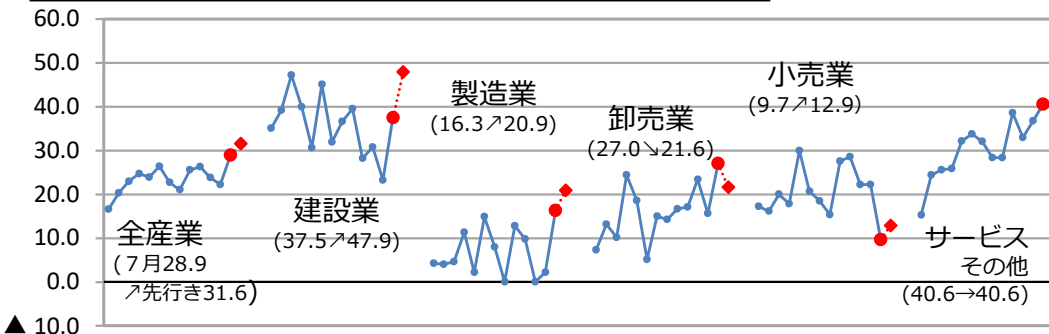
販売単価D I は21.5と前月から1.6ポイントの減少で、価格の下落を訴える傾向が強まった。先行きD I も18.9と下落を見込む。



5) 従業員D I と先行き見通し

▽従業員D I の推移 (2021年7月以降)

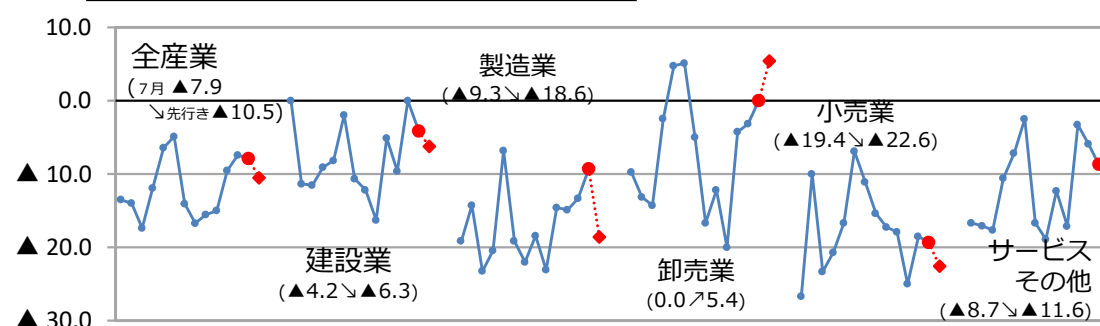
従業員D I は28.9と前月から6.7ポイント増加。
 先行きD I は31.6で、人手不足感が強まる見込み。



6) 資金繰りD I と先行き見通し

▽資金繰りD I の推移 (2021年7月以降)

資金繰りD I は▲7.9と前月から0.5ポイントの減少。
 先行きD I は▲10.5と悪化の見込み。



②海外ビジネスの展開について

- 海外ビジネスを展開している企業は、20.4%となった。具体的な内容については、「現在輸入を行っている」が38.6%、「現在輸出を行っている」が22.7%となった。【表1】 【図1】
- 現在の海外ビジネス展開先としては、「東南アジア諸国」が36.5%、次いで「中国」が34.6%となった。今後、ビジネス展開を予定・検討している国は、「東南アジア諸国」が21.2%、次いで「北米諸国」が13.5%となった。【図2】
- 今後、海外ビジネスを予定・検討している企業は、24.5%となった。具体的な内容については、「海外ビジネスの展開については現状維持の予定」が39.6%、次いで、「今後、海外ビジネスの展開のさらなる拡大を検討している」が30.2%となった。【表2】 【図3】
- 海外ビジネスにおける課題・懸念材料は、「人材の確保・育成」が50.4%、「信頼できる現地ビジネスパートナーの確保」が40.5%と続いた。【図4】

表1 【海外ビジネス展開の現状】

海外ビジネスを展開している	20.4%
海外ビジネスは展開していない	79.6%

図1 【海外ビジネス展開の具体的な内容】（複数回答可、上位4項目）

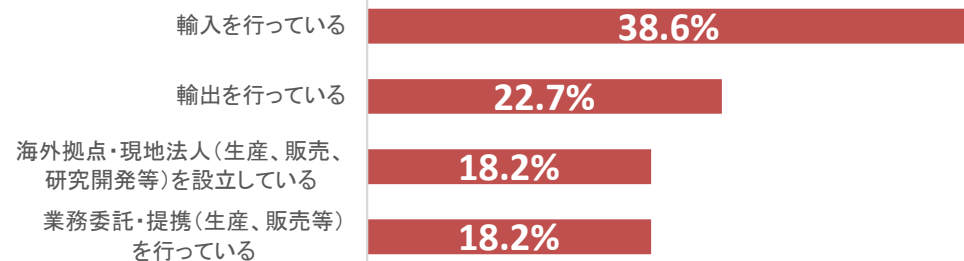


表2 【海外ビジネスの今後の方針】

今後、海外ビジネスを予定・検討している	24.5%
今後も海外ビジネスを行う予定はない	75.5%

図3 【今後の展開の具体的な内容】（複数回答、上位4項目）

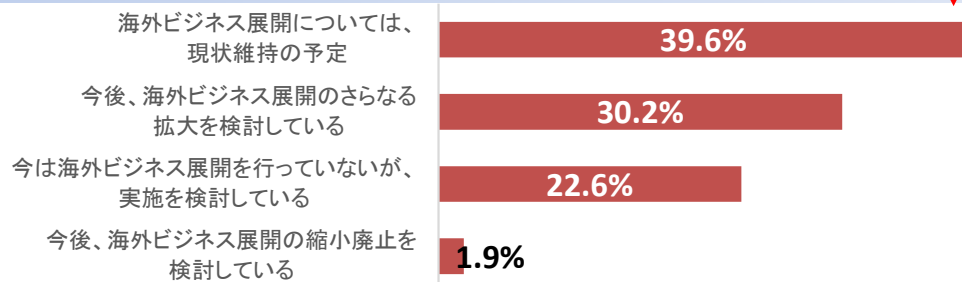


図2 【海外ビジネスの主な展開先】（複数回答）

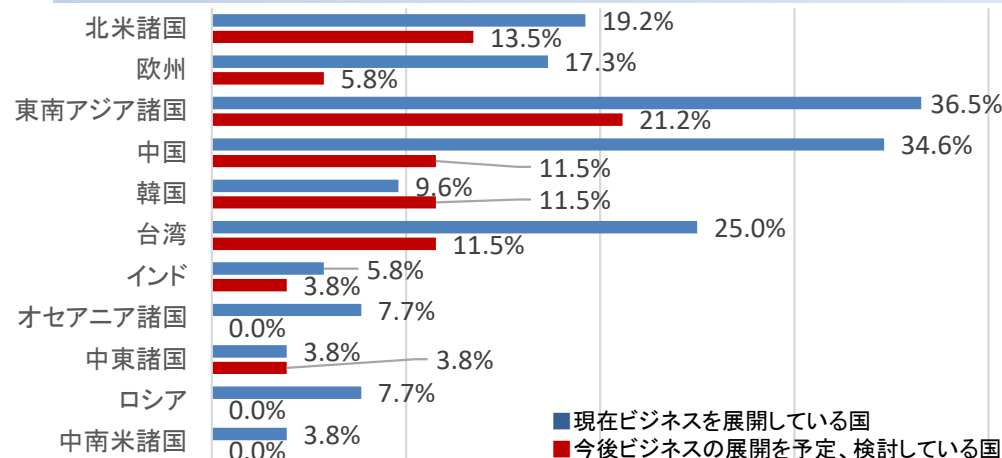
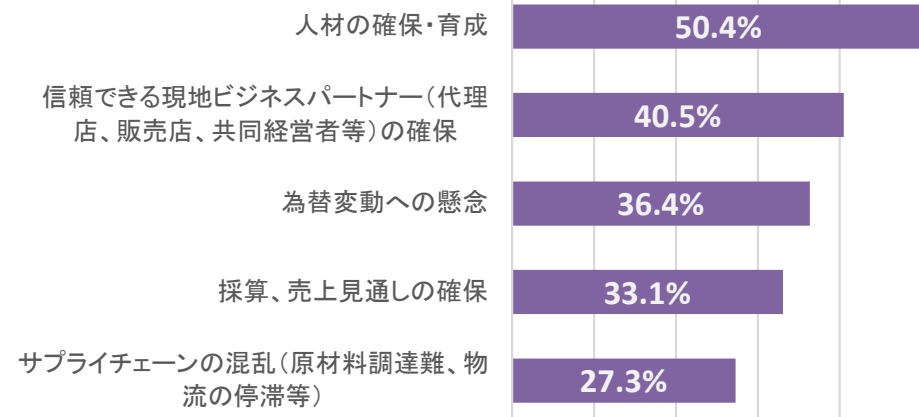


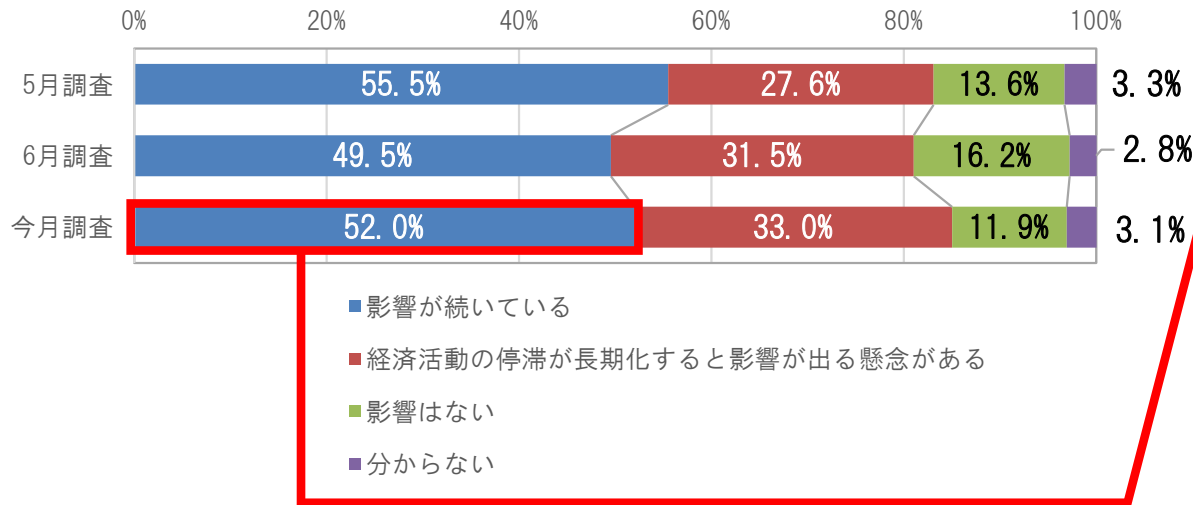
図4 【海外ビジネスにおける課題・懸念材料】（複数回答、上位5項目）



③新型コロナウイルスによる経営への影響

- 新型コロナウイルスによる経営への影響について、「影響が続いている」と回答した企業は52.0%で、前月調査時と比較して2.5ポイント増加した。「現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある」と回答した企業は33.0%、「影響はない」と回答した企業は11.9%であった。【図1】
- 「感染拡大前と比べたマイナスの影響の大きさ」については、前月調査と比べて、「ある程度の影響（売り上げが10%超減少）」と答えた企業の割合が減少し、「深刻な影響（売り上げが50%超減少）」、「大きな影響（売り上げが30%程度減少）」と答えた企業の割合が増加した。【参考】

図1 【新型コロナウイルスによる経営への影響】



参考【感染拡大前と比べたマイナスの影響の大きさ】

「経営への影響が続いている」と回答した企業を100とした場合

	7月	6月	5月
深刻な影響 (売り上げが50%超減少)	6.8%	5.6%	7.3%
大きな影響 (売り上げが30%程度減少)	26.3%	26.2%	28.5%
ある程度の影響 (売り上げが10%程度減少)	66.9%	68.2%	64.2%

(参考) 会員の声

- ほとんどの商品の仕入価格が上昇している中、販売価格の改定が追いついていない。…【業務用食品卸売業】
- 燃料価格の上昇が、大きな負担になってきている。国や地方自治体の救済補助が必要。…【一般貨物自動車運送業】
- 新型コロナウイルスによる規制が緩和された矢先に感染拡大が現実的になり、再び経済への影響が懸念される。…【装飾金物製造業】
- 資材費や人件費等の製造原価上昇分はこれまでのところ販価にほぼ転嫁できているが、この先も上昇が続くようだと取引先との値上げ交渉が難航するものと危惧している。…【帆布製品製造業】
- ミャンマーの技能実習生が帰国した後にも繋がりを持ち、いずれはビジネスを展開したい希望がある。…【鉄鋼工事業】